

Close up だて



円空作聖観音像



微笑みを見せる聖観音像

シリーズ ふるさと探訪③

「350年の微笑み」

伊達市に住む私たちが知っていそうで知らない歴史や裏話を生涯学習課文化財係がシリーズでお届けします。

1

632年、岐阜県に生まれ、た円空は、仏門に入った30歳頃から仏像を作るようになり、木彫りの仏像を残し、生涯に12万體以上彫ったといわれています。

円空が作った仏像は「円空仏」と呼ばれ、その多くは岐阜県や愛知県に残されていますが、北海道にも現在40体ほどの円空仏が残されていて、このうちの1体「円空作聖観音像」が有珠善光寺に納められています。

この像を見ようと台座は鉦で勢いよく彫りだした力強さが見られると共に、柳葉状の切れ長な目、柔らかく口角が持ち上がる口元という円空独特の不可思議な微笑みをたたえている作風が見て取れます。また、この仏像の背中には、円空が自ら次の銘を刻んでいます。「つすおくのいん小嶋 江州伊

吹山平等岩僧内 寛文六年丙午 七月廿八日 始山登 円空(花押) 「つすおくのいん小嶋」は洞爺湖の観音島にある観音堂のことです。また、1666年とあるので、今から350年前に円空が有珠の地に來ていたことがわかります。言い伝えによると、円空は豊浦町にある小幌洞窟で円空仏を5体彫ったといわれています。善光寺の円空仏はその1体に数えられています。

当時の有珠は、1640年の駒ヶ岳の噴火やこれに伴う津波、1663年の有珠山噴火といった自然災害に見舞われていました。円空がどのような思いでこの仏像を彫ったのか謎のままですが、穏やかな微笑みを見せるこの仏像は、自然災害に苦しむ人々の救済を祈り彫ったのかもしれないね。「円空作聖観音像」は有珠善光寺宝物館で観ることができます。

有珠善光寺宝物館

住所 有珠町124

開館時間 午前9時～午後4時(要事前予約)

拝観料 ●大人200円

●高校生150円

●小中学生100円

その他 資料保存のための展示替えあり

☎ 有珠善光寺 (☎38-2007)

表紙のはなし



今年も総合公園だて歴史の杜で開催された「第七戦伊達雪まつりー冬の陣ー」。恒例となっている特設すべり台や雪だまストラックアウトに加え、新イベント「チャンバラKASSEN」や「だてまる君の謎解き宝探し」など、イベントが盛りだくさん。雪がちらつく厳しい寒さの中、多くの家族連れでにぎわいをみせていました。

楽 画 記

■年齢が増すにつれ、月日が軽つスピードも増していくのを実感する今日この頃。この周生まれたばかりだと思っていた姪っ子が受験生に。自分が試験を受けるわけでもなく、無事桜が咲くことを祈るしかない立場なのに3月3日に向け緊張感が高まります。受験生の皆さん、体調に気をつけ十分力を発揮できるようお祈りします。(と)

■「今年はなかなかインフルエンザが流行しないな」と思っていると、2月に入った途端、市内の学校が学級閉鎖になったり、身近な人がかかったり。そして、雪まつりの取材に行った日の夜、私の体にも異変が。発熱・倦怠感に襲われました。皆さんも手洗いやマスクを着用するなど、くれぐれもお気をつけください。(た)

■突然ですが、ラジオ体操を始めました。ラジオ体操といえば朝のイメージですが、私の場合は寝る前に行います。これがなかなかイイ感じで、首や肩の疲れがとれて寝つきがよくなります。疲れをとる方法やストレス発散法は人それぞれですが、自分に合った方法が見つかったと毎日を気持ちよく過ごせるなあと思いました。(や)